

## 令和 2 年度事業計画書

### 事業計画

令和 2 年度は、平成 29 年度策定の中長期計画の中間検証として、事業の選択と集中の効果や広報戦略の進捗を確認すると共に、本計画に沿って各事業を着実に実施することにより、国際花と緑の博覧会（以下「花の万博」という。）の理念「自然と人間との共生」の一層の継承・発展を図る。

具体的には、第 28 回目の顕彰となるコスモス国際賞や助成・協働事業の充実、花の万博 30 周年記念事業を各方面と連携し実施する等、一層の展開、推進を図る。

経済状況が厳しい中、限られた財源ではあるがより一層創意工夫するとともに、特定費用準備資金制度を活用して、予算の平準化に努める。

なお、事業の実施については、新型コロナウイルス感染症対策本部の動向を注視しつつ、慎重に判断する。

#### 1. 顕彰事業

##### (1) コスモス国際賞

花の万博の「自然と人間との共生」という理念に合致する研究活動や業績を顕彰する 2020 年のコスモス国際賞（第 28 回）事業を実施する。また、第 29 回目となる 2021 年コスモス国際賞の準備を進める。

##### (2) B I E コスモス賞

博覧会国際事務局 (BIE) が実施し、当協会が協力する「BIE コスモス賞」については、「2020 年ドバイ国際博覧会」での授賞に向け、BIE、ドバイ万博事務局と連絡調整等を進める。

##### (3) 全国花のまちづくりコンクール

花の万博を契機に、「花とみどりの国づくり及びまちづくり」（提唱：農林水産省及び国土交通省）を目的として創設された「花のまちづくりコンクール」については、推進協議会に参画し、実施する。

#### 2. 助成・協働事業

##### (1) 花博自然環境助成事業（調査研究、活動・行催事、復興活動支援）

花の万博理念の継承発展及び普及啓発に資する「調査研究」、「活動・行催事」及び被災地における「復興活動支援」のため、公募による助成事業を実施する。

## (2) 地域協働事業

助成事業成果発表会と市民活動団体等の交流を目的とした「花と緑の交流広場」(呼称「自然と人間との共生フェスタ」)については、新型コロナウイルス感染症のため実施を取りやめた令和元年度予定事業を和歌山で実施するとともに、今後は2年計画の事業に見直す。

## 3. 普及啓発事業及び国際交流事業

### (1) 次世代育成事業

協会事業に関係する学者、知識人等を講師として小学校へ派遣する「小学校講師派遣事業」については、20校で実施すると共に、山野で生き物を調査・観察する「自然観察教室」、毎日新聞社との共催による「校庭・園庭における生態園づくり」を引き続き実施する。

また、幼・保育園児に自然に親しむ機会を提供する「鶴見緑地昆虫クエスト大作戦」を引き続き実施する。

### (2) 花育推進事業

花や緑を児童教育等の中に取り入れることを目的とした「花育活動」の推進のため、花育推進セミナー・交流会、花育ワークショップの開催等を支援する。

### (3) 都市緑化推進運動等への協力事業

都市公園の整備、民有地の緑化により都市における豊かな生活環境の実現を目的とする「都市緑化推進運動」、及び住民参画のもと創意・工夫を生かしたまちづくり推進を目的に実施される「まちづくり月間」に協力する。

### (4) 普及啓発事業

花の万博開催の地元である大阪で開催される「大阪都市緑化フェア」や「はならんまん」などの普及啓発イベントに協力するとともに、みどりのまちづくりに貢献する美しい景観となっている建物や緑化活動を表彰する「みどりのまちづくり賞」に参画する。

また、「コスモス国際賞受賞記念講演会」を東京、大阪で高校生や一般を対象に開催する。

花の万博30周年記念事業として、大阪市等と連携し、鶴見緑地等において催事等を実施する他、2025年関西・大阪万博の機運喚起とホストシティの美化をめざして「万博の桜2025」実行委員会事務局として、PR、寄附の受け入れ等を進める。

情報発信については、令和元年度に引き続き情報誌『KOSMOS』の発刊やソーシャルメディアを活用する他、花の万博資料や当協会の蓄積情報をアーカイブとしてのデータベース化を進める。

#### (5) 国際交流事業

自然豊かな台湾で、日台の高校生が博物館の研究者と共にフィールドを巡る「高校生のための生き物調査体験ツアーin台湾」を継続実施するとともに2021年度の公募の準備を行う。

#### 4. 調査研究・資料収集事業

##### 生物多様性等に関する調査

花の万博の理念継承に資する生物多様性の保全や、動植物の生息地や保存等に関する情報収集等を行うとともに平成28年度に作成した小冊子「日本固有植物に学ぶ 自然のしくみと共生の知恵」を活用して、引き続き成果を広く発信していく。

また、関西の企業や博物館、市民団体による「生物多様性協働フォーラム」に参画し、各情報の収集等を実施する他、協会の各事業を企業、団体と連携し実施することを目途に、SDGsやメセナに対する企業等の取組を調査する。

# 令和2年度収支予算書（損益計算方式）

令和2年4月1日 から 令和3年3月31日 まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
基本財産受取利息	2,760,000	6,500,000	△3,740,000	
特定資産運用益				
記念基金受取利息	217,240,000	233,500,000	△16,260,000	
受取寄付金				
受取寄付金振替額	4,000,000	4,000,000	0	
経常収益計	224,000,000	244,000,000	△20,000,000	
(2) 経常費用				
事業費	180,983,180	198,206,100	△17,222,920	
役員報酬	8,400,000	8,402,800	△2,800	
給与手当	35,788,500	40,602,000	△4,813,500	
法定福利費	6,771,500	7,704,000	△932,500	
退職給付費用	1,795,880	1,922,400	△126,520	
賃金	1,482,600	243,600	1,239,000	
職員厚生費	159,300	285,000	△125,700	
会議費	2,079,700	2,155,300	△75,600	
旅費交通費	7,745,670	9,631,930	△1,886,260	
通信運搬費	2,729,690	3,030,020	△300,330	
消耗什器備品費	70,000	70,000	0	
委託費	28,644,350	31,745,000	△3,100,650	
消耗品費	3,300,500	1,538,600	1,761,900	
修繕費	609,000	910,000	△301,000	
印刷製本費	1,084,300	2,124,500	△1,040,200	
光熱水料費	2,520,000	2,772,000	△252,000	
賃借料	4,552,800	4,469,500	83,300	
使用料	2,354,100	2,548,000	△193,900	
諸謝金	5,970,650	6,522,250	△551,600	
負担金・会費	10,660,000	14,485,000	△3,825,000	
助成金支出	13,120,000	15,458,000	△2,338,000	
租税公課	44,800	44,800	0	
手数料	465,500	602,000	△136,500	
賞金支出	40,000,000	40,000,000	0	
保険料	217,000	203,000	14,000	
雑費	417,340	736,400	△319,060	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
管理費	71,166,820	72,293,900	△1,127,080	
役員報酬	3,600,000	3,601,200	△1,200	
給与手当	31,966,500	31,278,000	688,500	
法定福利費	5,623,500	5,512,000	111,500	
退職給付費用	1,604,120	1,477,600	126,520	
賃金	635,400	104,400	531,000	
職員厚生費	140,700	215,000	△74,300	
会議費	891,300	923,700	△32,400	
旅費交通費	3,319,570	4,127,970	△808,400	
通信運搬費	1,169,870	1,298,580	△128,710	
消耗什器備品費	30,000	30,000	0	
委託費	12,276,150	13,605,000	△1,328,850	
消耗品費	1,414,500	659,400	755,100	
修繕費	261,000	390,000	△129,000	
印刷製本費	464,700	910,500	△445,800	
光熱水料費	1,080,000	1,188,000	△108,000	
賃借料	1,951,200	1,915,500	35,700	
使用料	1,008,900	1,092,000	△83,100	
諸謝金	2,558,850	2,795,250	△236,400	
負担金・会費	680,000	490,000	190,000	
租税公課	19,200	19,200	0	
手数料	199,500	258,000	△58,500	
保険料	93,000	87,000	6,000	
雑費	178,860	315,600	△136,740	
経常費用計	252,150,000	270,500,000	△18,350,000	
当期経常増減額	△28,150,000	△26,500,000	△1,650,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△28,150,000	△26,500,000	△1,650,000	
一般正味財産期首残高	150,933,987	163,530,862	△12,596,875	
一般正味財産期末残高	122,783,987	137,030,862	△14,246,875	
II 指定正味財産増減の部				
受取寄付金	4,000,000	4,000,000	0	
一般正味財産への振替額	△4,000,000	△4,000,000	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	10,838,086,600	10,698,831,257	139,255,343	
指定正味財産期末残高	10,838,086,600	10,698,831,257	139,255,343	
III 正味財産期末残高	10,960,870,587	10,835,862,119	125,008,468	